

ゴッホの「向日葵」 日本に紹介したのは武者小路実篤だった

画家ゴッホ(1854～1890)好きの日本人は多い。そのゴッホを最初に日本に紹介したのは「白樺派」の武者小路実篤で、明治44年(1911)に雑誌「白樺」でゴッホを題材にした作品を発表している。調布市武者小路実篤記念館の福島さとみ事務局長は「ゴッホに対する思い入れが強く、白樺美術館のために神戸の実業家・山本願弥太に『向日葵』(写真参照)の購入を進めたのは実篤でした」と話す。

山本願弥太は大正9年に2万円(現在価格で約2億円)で購入した。その後白樺美術館構想がなくなり山本は自宅に飾った。実篤は昭和13年(1938)に山本家を訪ね記念写真を撮っている。だがこの「向日葵」は昭和20年の空襲で焼失したので、今では幻の「向日葵」と呼ばれている。大正10年(1921)に白樺社から発行された「セザンヌゴッホ画集」ではカラーで複製され、貴重な資料となっている。「この画像は当館で所蔵しており、今後の企画展で展示したい」と前述の福島事務局長が話す。市内でゴッホに逢えることを期待したい。(大泉清)



写真提供/
調布市武者小路実篤記念館

ニュースは 200 号に ご愛読に感謝します

調布市民放送局ニュースは200号を迎えました。2009年6月の創刊号から16年余、皆さんに最新の情報をお届けしてきました。

コミュニティ番組「調布 CATCH」の放送開始は06年のことで、地元の出来事を映像で伝える挑戦は大歓迎していただきました。一方で肝心の放映時刻やチャンネルが分からないという多くの声が寄せられ、3年遅れでニュースが始まった経緯があります。

バックナンバーはホームページ(HP)からご覧いただけます。朝ドラ「ゲゲゲの女房」で沸き立った2010年、東日本大震災の被災者に心を寄せ、地震の備えを呼び掛けた11年、コロナ禍で配布を断念してHPのみでの公開を余儀なくされた20年前半など、地域の歩みを再確認できます。

これからも市民の手作りによるニュースを毎月お届けします。引き続きご愛読

【ニュース100号(2017年10月発行)】1面 いただければ幸いです。(編集部)



市内で不審者による 子供への声かけが多発。

帰宅中の子供への不審者による声かけが多発している。犯罪に巻き込まれる危険もある。調布警察署(電話042-488-0110)では「少しでも怖い」と思ったら、大声を出して逃げ出すなり、防犯ブザーを鳴らすなどの注意喚起をしてください」と呼びかけている。

2月28日に家族で楽しめる 防災イベントを開催

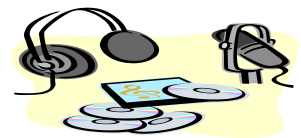


調布消防署の裏庭で2月28日(土)に、大がかりな防災イベントを開催。起震車で地震体験をしたり、隊員によるはしご車での訓練など。東京消防庁のキュータ君も来場。調布消防署(電話042-486-0119)では「土曜日の午後1時からです。子供さんでも楽しめるショーもあり、ご家族でぜひ」と言う。

2026年2月 番組表

＜調布市民放送局の番組を見ることができます＞

◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！



調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送

テレビ番組

月	火	水	木	金	土	日
8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25
1日 15日	<p>① ふらっとのぞいてみよう in サークルデビュー調布 このサークルデビューは調布市内で活動しているサークルを紹介し、愉快的仲間たちと出会える場を提供するイベント。実演もありました、武道の「剣新会調布支部」、落語の「調布噺の会」、音楽の「混声合唱団 あかり」などが日頃の成果を披露しました。</p> <p>② サークル探訪「アカデミー愛とぴあ 万葉集を読み解く」 今回は万葉集から中大兄皇子の三山歌を取り上げ、背景や意味を読み解きます。併せて、見世物小屋についてのミニ講演の様子もご覧いただけます。</p>					
16日 28日	<p>① CIFAニューイヤーパーティー2026 フィリピン、ミャンマー、ベトナム、中国など13か国、140人が参加して、1月17日に 国際交流センター主催「CIFAニューイヤーパーティ2026」が開催。フィリピンの伝統的な踊りであるバンブーダンス、江戸時代から続く日本の伝統芸能:大江戸玉すだれ、シリアの歌「アルロザーナ」など披露されました。また、ワークショップでは、だれでも参加でき、初めてのバンブーダンスや玉すだれに挑戦し、楽しんでいました。最後はみんなで「調布音頭」！！ 会場に、国際的な踊りの輪ができました。</p>					



ラジオ

「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分)			
月	放送日	内 容	ご 紹 介
2月	2日(再放送) 9日(再放送)	宮本苑生の『詩の世界』 吉田義昭さんの詩の朗読	前半は吉田義昭詩集『海と重力』から「余命」と「月と花火」を、後半は歌曲になった詩の数篇をお届けします。 解説:宮本苑生 朗読:峯田里香子
	18日(再放送 前編) 25日(再放送 後編) (2025年8月放送済み)	ゲスト:京王電鉄(株) 代表取締役社長 都村智史さん	調布市内を走る唯一の電車、京王電鉄社長の都村さんに今後に向けての街づくりについてのビジョンや対応をお聞きします。 インタビュアー:真山勇一

HP

インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。👉 調布市民放送局で検索

<http://chofu-catch.or.jp/> (公式 HP)

(すべての番組2015年～現在まで)

<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)

(すべての番組2004年4月～2015年3月)

<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局) (2015年～)



【公式 HP】



【アーカイブサイト】



【フェイスブック支局】

【FC 東京応援記】

沖縄キャンプを終え、チームの仕上がりは上々だ。松橋監督の戦術の浸透と復帰した佐藤龍之介や新加入の山田楓喜、橋本健人ら「新青赤の戦士」たちの躍動に期待。今季は秋春制移行に伴う特別大会「J1百年構想リーグ」として通常リーグ戦には含まれず、東西10チームで戦う変則的な短期決戦で、6月には早くも王者が決まる。開幕戦は2月7日、ホーム味スタでの鹿島戦。地上波全国生中継もあり、注目度は最高潮だ。2月は14日の浦和戦、28日の柏戦もホーム開催。この半年間、無冠返上の第一歩として全力で駆け抜けよう。目指すは頂点のみ！(東京イチロー)

ちょびット

NO. 54

調布社協 インフォメーション



調布社協では市内のお店や企業、公共施設などにご協力をいただき、計177ヶ所に「しあわせ・ふくし・はこぶ箱」(募金箱)を設置しています。

いただいた募金は、地域での支え合いや見守り、つながりづくりなど地域福祉活動の推進のため、大切につかわせていただきます。

募金箱を新たに設置いただける方は、ぜひ調布社協までお問合せください。